

診療情報を利用した臨床研究について

当院では透析医療の実態調査を行う臨床研究を実施しております。この研究は日本では48か所の病院が参加しています。この研究は透析医療で得られた様々なデータを分析し、生存率等の治療成績に影響を及ぼす因子を検討し、医療者や患者さんにその情報を還元していくものです。

《研究の名称》

J-DOPPS(第7期調査)

-日本における血液透析の治療方法と患者の予後についての調査:第7期調査-

《対象となる方》

慢性腎不全と診断された、18歳以上の当院血液透析患者

- ※除外基準 ①血液透析以外の血液浄化療法を受けている患者
②在宅血液透析患者
③急性腎不全

《研究対象者の選定》

25例から最大30例を血液透析患者リストより無作為抽出し、患者さんもしくは代諾者の同意を得た上で調査を実施します。

《研究の目的》

日本における血液透析治療の実態のデータを収集し、国内における血液透析の診療と治療の発展に寄与すること

《研究の意義》

J-DOPPSはWorldWide-DOPPSの一部であり、第7期調査では日本のほか10か国が参加しています。

本研究の成果はこれまで数々の論文として腎臓病に関する専門誌に発表されるとともに、腎臓病・血液透析に関する主要な国際、国内学会で報告されています。また米国、日本、や他の国において透析治療のガイドラインの参考文献としても引用されています。以上のことから、本研究によって得られた情報は血液透析分野において最も意義のある重要な知見の一つと評価されています。

《研究期間》

2019年6月18日～2022年9月30日

《個人情報の取り扱い》

研究にあたり患者さんの個人情報は専用サイトで入力されますが、個人を識別できないように番号に置き換えて管理され外部機関が個人情報を収集できないようシステムが構築されています。また学会や学術誌に掲載される場合も個人が特定されない形で利用されます。個人情報を含む資料は、研究終了後3年間保存し、保存期間終了後は速やかに廃棄します。

《研究代表者》

血液浄化センター センター長 西 崇男